

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成19年8月8日

【評価実施概要】

事業所番号	2874400308		
法人名	社会福祉法人 尚徳会		
事業所名	グループホーム とよおかの里		
所在地	兵庫県豊岡市香住1272 (電話) 0796-29-5533		
評価機関名	特定非営利活動法人 姫路市介護サービス第三者評価機構		
所在地	兵庫県姫路市安田三目1番地 姫路市自治福祉会館6階		
訪問調査日	平成19年 6月22日	評価確定日	平成19年 8月 8日

【情報提供票より】(平成19年 5月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 11月 15日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人, 非常勤 0人, 常勤換算	8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	22,000 円	
敷金	有() 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(5月30日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	1	要介護2	2		
要介護3	4	要介護4	2		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 84.8歳	最低	69歳	最高	101歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	江本内科クリニック
---------	-----------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、豊岡市の市街地から少し離れた静かな田園に囲まれたところにあり、母体法人の施設に併設された敷地内の一番奥に位置している。小学校がすぐ隣にあるが、周りは静かである。とんど焼きに夏祭り、文化祭や運動会への招待を受けたりで地域との交流が行われている。近所の商店へも頻繁に買い物に出かけたり、また、近くの景色の良い旧跡へ出かけることもある。入居者はゆったりと静かな生活をさせていて、庭には畑がある。入居者と草取りをしたり、教えてもらいながら野菜も育てている。ホームの中は、手作りの作品や写真が飾られており、テレビのまわりにも職員と一緒に作成した飾りも置かれている。共用空間では、畳やソファを設けたり、テーブルには季節の花や職員との合同作品も多く飾られていた。法人との協力連携体制もできており、併設のホームへ毎月音楽会の披露で訪問をされている交流もある。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目: 第三者4)
	前回の評価で改善課題とされた研修についての取り組みは、法人が行う年間を通しての各種の研修と平行して、ホーム独自に職員と入居者として検討して、毎月一緒に学習会を開いている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 第三者4)
	今回、自己評価については、管理者が主にその内容についての回答を行っているが、全職員へ自己評価の内容について具体的には知らせていない。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 第三者4, 5, 6)
	運営推進会議は、現在までには行われていないが、法人として今後開催する準備を進めている。今後の取り組みに期待している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 第三者7, 8)
	ホームの玄関にアンケート用紙と受付の箱を準備されているが、家族が来られたときに、話をうかがうようにしている。直接にはなかなか言いにくいこともあると思われるので、今後、郵送などでの、アンケートも検討されてはどうか。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目: 第三者3)
	食材の買い物や日用品などは近くの商店を利用している。顔なじみにもなって、生活の一部になりつつある。地域の中で暮らすということについて、自治会や老人会とのつながりを作っていたり、こちらから出かけていたり、来ていただいたりとの交流など、入居者がこの地域で暮らしているという実感がもてるような地域との連携が望まれる。

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人としての理念と基本方針は、明確で施設内にはわかりやすく掲示されているが、ホーム独自の理念についてはつくりあげていない。		法人の理念を踏まえて、管理者と職員が共にホーム独自の理念をつくられることが望ましい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム独自の理念の共有とその実践の取り組みは実施されていない。		法人の理念や基本方針については、会議等で管理者からも話しがされているが、ホーム独自の理念を明確にされてから、管理者と職員で共有、実践されることを期待する。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	授業の一環での小学生の訪問やとんど焼き、運動会への招待をされたり、夏まつりや文化祭への参加は行っているが、自治会や老人会の行事などへのホーム単独での地域との交流への取り組みは行われていない。		グループホームとして、地域の中で暮らしていくことを実感していただくためにも、入居者自身が地域の自治会や老人会との繋がりをもてるように支援したり、機会をつくる取り組みを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は、自己評価及び第三者評価の実施の意義を理解しており、職員へも、会議や日々の業務の中で話しをしており、改善に向けた取り組みを行っている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、現在は行われていない。</p>		<p>法人の理事会、評議員会では、運営推進会議の開催についての話し合いがされているが、構成する方々やその内容については、今後意見交換をされて、ホームのサービス向上にむけて運営推進会議の意見がいかせるような会議の開催と取り組みを期待したい。</p>
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>ホームの管理者は、市の担当者が行き来する機会をつくり、サービスの質の向上に取り組む姿勢はあるが、担当者が替わってから行っていない。</p>		<p>施設に併設のホームであることもあり、市の担当者とも行き来する機会をつくり、共にサービスの質の向上に向けて取り組まることが望ましい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>入居者の日々の暮らしの中の出来事や写真を交えたコメントなどと、金銭管理の報告を兼ねて3ヶ月に1回ご家族へ連絡をとり情報提供を行っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関の棚の上に、コメント用紙をおいて、自由に意見を伝えてもらえるようにしている。また、ご家族の来訪時には要望を含めてお話を聞くようにもしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>やむを得ず移動のあった職員は、その後も朝や夕方にホームに立ち寄り、利用者が不安にならないように心がけて配慮している。また、入居者が不安になっている場合など、管理者は常時対応できる体制もある。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の人材育成のため、法人の研修計画に基づいた研修と、ホーム独自の入居者と共に行う勉強会が実施されており、全員参加を目指して進めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近くの施設で行われる研修や勉強会に参加しているが、同業者との交流する機会をつくり、相互訪問等の活動を通じての取り組みは、されていない。		管理者は、同業者との交流をもち、サービスの質の向上に努めていきたいと考えており、今後の取り組みに期待したい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の意向や家族の話を聞きながら、サービス利用を始めていただいているが、契約後に、利用者は、ホームで過ごしてもらうことにしている。		本人の状況に応じて、家族や本人とも相談しながら、その状況によっては、いきなりサービスを開始することは決めてしまわずに、徐々にホームの生活に慣れてもらえるように工夫をされる方があってよいのではないかと。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	毎日の食事の買い物や料理、盛り付けなど入居者ができることを教えてもらいながら、一緒に取り組んでいる。また、畑仕事も入居者から学びながら野菜作りをしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの話をじっくり聞くことや、自分の思いを伝えることが出来ない方には、日頃の本人の会話の中から意向を把握して対応している。入居者の生活暦などを家族から情報を得ている。		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護計画は、本人、家族等の意見を直接聞くようにしており、その意見や希望などを反映した計画を作成している。職員間では、ケアプランノートを使って担当者と他の職員間の連携をとり、介護計画の作成に役立てている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画の期間に留まらず、見直しが必要になった時には、その状態の変化に応じて現状に即した新しい介護計画の見直しがされていることが確認できなかった。		介護計画の期間に留まらず、その状態の変化などがあれば、見直し計画の作成をされることが望ましい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	法人の施設が併設してあることで、利用者の相互訪問が自然と行われていて、入居者の活性化にも繋がっている。入居者が演奏する音楽会を毎月、施設のホールで行っており、恒例で楽しみにされている方も多い。また、看護師が日勤帯は常駐しているため、急変などの場合にも安心である。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近所の開業医の先生と連携をとっており、必要に応じて往診などの医療の支援が受けられる。定期的な健康診断や受診の支援も行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のケアなどについては、家族等と職員とも十分に話し合い、方針を決めてその内容を共有して実施している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりを尊重した対応や言葉かけを心がけており、新人研修の中にもその内容が盛り込まれている。コミュニケーションマニュアルやサービスマニュアルによって、プライバシーの確保を徹底している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人ひとりの希望を尊重しながら、ペースを大事にして無理にしてもらうことはないように、できそうなことを出来るだけ自分でしてもらるように支援している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は、入居者の好みを聞きながら作成している。食事が楽しくできるように、場所や他の利用者との様子を見ながら席にも配慮して一緒に食事をしている。毎日の食材の買い物も入居者と出かけているのと、料理や後片付けができる方はペースを合わせて一緒にしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、各入居者の方が週に2回程度は入れるように考えて声かけをしているが、曜日や時間帯は一人ひとりの希望を聞いて入りたい時に、体調も見ながら入っていただいている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活の中で、毎日の食材の買い物や食事の準備や盛り付けを一緒にしたり、掃除機をかけたり、拭き掃除をしてもらったりしている。また、畑での野菜作りにも経験を活かしてもらえるよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な買い物は、ほぼ毎日のように出かけている。また、季節を肌で感じてもらい、心身の活性につながるよう日常的な近隣への散歩だけではなく、景色の良いところや花見など、季節によって戸外へ出かける機会を作って、車などで出掛ける支援もしている。一人ひとりのレベルに合った外出支援に取り組まれている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や日中の玄関などの出入り口の鍵はかけていない。1人で出かけようとする入居者には、そっと付き添うことで対応している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人の施設との合同の災害対策がされている。		今後、地域の人々の協力が得られるような働きかけも行いながら、地域に密着したホームの災害対策が望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の献立は、入居者の好みなどを聞きながら作成した上、施設の管理栄養士にも確認してもらっている。摂取量については、職員が個々に把握して、水分の確保や体調や医師からの指示で制限がある場合など、配慮をして支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には、入居者と一緒に植えた季節の草花がプランターにあった。共用の居間や食堂には、手作りの飾りや作品、外出時の入居者の皆さんの写真などが、飾られている。季節感も取り入れた家庭に近い環境作りがされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室は、本人や家族と相談して、使い慣れた箆笥や棚をはじめ、仏壇を置いたりして、居心地よい部屋になっている。各部屋の入り口には、入居者が選んだそれぞれの好みののれんがかけられて、手作りの表札と共に、わかりやすく工夫されている。		

 は、重点項目。